

2014年5月8日

各 位

会 社 名 新日本空調株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 高橋 薫  
コ ー ド 番 号 1952 (東証 第1部)  
問 合 せ 先 経営企画本部長 和木 英人  
TEL(03)3639-2701

### 中期経営計画「究極真価プラン2016」(2014~2016年度)策定について

当社は、2014年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「究極真価プラン2016」を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

#### I. 基本方針

今回の中期経営計画の柱となる基本方針を、「地球環境を先導すべく、環境ソリューションカンパニーとして、顧客ニーズに的確に応えた「SNK品質」の深化と進化で真価を極める」とし、計画のサブタイトルを「究極真価プラン2016」といたしました。

「SNK品質」とは、お客様のニーズを的確に捉え、それに迅速に対応する「営業品質」、高い技術のみならず、安全への対応、技術の研究・開発を通してお客様のニーズにお応えする「技術品質」、事業推進を適切にコントロールしつつ透明性の高い会社を実現し、現業部門をサポートする「コンプライアンスを含む本社品質」の3つの品質の総和と定義しております。

この「SNK品質」において、個々の人間力を結集し、現状にとらわれることなく常に究極を目指して進化させると共に、プロフェッショナル集団として本物の真価を極め、お客様にとって“無くてはならない会社”としてのポジションを確立してまいります。

また、コンプライアンスに関しては、監視機関の設置や教育の徹底により一層の充実を図り、全社一体となり真摯に取り組んでいく所存です。

#### II. 定性計画

定性計画は、下記の3つを経営課題として取り組んで参ります。

1. 顧客信頼度の究極真価
2. 技術の継承と先進技術の訴求展開
3. コーポレートガバナンスの強化と機動力のある組織体制

## 1. 顧客信頼度の究極真価

### 1) ワンストップソリューションの体制推進

- ・建物のライフサイクルに関わるお客様ニーズを的確に取り込み、施設資産管理ニーズを強力にサポートします。
- ・お客様の多様なニーズに応じていくため、空調分野にとどまらず、衛生分野、電気分野、防災分野関連まで含む、環境ソリューション全般に関する技術力・営業力の強化を行うと共に、アライアンスやM&Aを視野に入れた取り組みを行います。

### 2) アジアを拠点としたグローバル戦略の推進

- ・豊富な海外経験を踏まえ、日本企業の進出が目覚ましいメコン経済圏へ海外拠点のネットワークを増強すると共に、国内-海外のシームレスな顧客サポート体制を構築します。
- ・海外での顧客サポート及び円滑な事業展開のため、グローバル化に対応した人材の採用・育成を行います。

### 3) リソースの大胆な傾斜配分

- ・多様化するお客様のニーズを俊敏かつ的確に捉え、最大限ニーズに応えるため、選択と集中の観点から、経営リソース、人的リソースの大胆な傾斜配分を行います。

## 2. 技術の継承と先進技術の訴求展開

### 1) 培った技術の継承と高度化推進

- ・施工基礎技術（施工管理、施工図作成、原価管理）や、施工省力化、工期短縮、安全確保の継承と高度化を更に推進します。
- ・協力会社と共同した「チームSNK」として、現場課題の解決、工期遅延対策等による逸失利益の防止並びに利益の創出に取り組みます。
- ・「現場の見える化」の高度利用推進やWG活動、人材育成を通して、施工現場での技術継承や技術改良について、積極的に全社への水平展開を図ります。
- ・これら技術の継承と高度化推進及び現場の生産性向上のため、ICTを最大限活用します。

### 2) 顧客ニーズ、事業ニーズに基づく技術開発の強化

- ・今後更に高まる「省エネ」ニーズに対し、再生可能エネルギーや未利用エネルギー利用と先端の省エネ技術の融合を図るZEB化技術への取り組みを行います。
- ・当社が開発したエネルギーを統合制御する熱源最適化システム（エナジークエスト）展開を通して、スマートエンジニアリングの強化を図ります。
- ・原子力施設の新規制基準対応技術の開発や廃炉に向けた当社技術の積極的な展開を行い、国の電力政策に積極的な貢献を行うと共に、長年培ってきた原子力施設での耐震や防災ノウハウを一般施設への展開を図ります。

### 3. コーポレートガバナンスの強化と機動力のある組織体制

#### 1) コーポレートガバナンス、コンプライアンスの強化

- ・コーポレートガバナンスを強化し、経営上の観点から、事業全般についてのコンプライアンス課題や社内外の様々なリスクに対応します。
- ・「当社はコンプライアンスに違反した仕事のやり方、利益の追求は絶対に行わない。」との宣言の下、コンプライアンスについて真摯に全社一体となって取り組み、監視活動の強化や教育の充実を図り、一層の強化、徹底を図ります。
- ・「SNK品質」という高い理念の元、高い「人間力」をもった人間を育成すると共に、内部統制の継続的運用による業務の適正性確保、並びに広報・CSR活動を通して社会に対する透明性の確保をすると共に、情報セキュリティやBCPへのリスク対応を図ります。

#### 2) 機動力のある組織体制

- ・組織横断的な社内タスクフォースを活用することにより外部環境の変化に柔軟に対応します。
- ・「新人事制度」をスタートさせ、社員のモチベーションの向上を図ります。
- ・ICTを活用したスマートプレゼンとスマートエンジニアリングの推進及び技術の継承と高度化推進及び現場の生産性向上のため情報インフラの拡充を図ります。

### Ⅲ. 定量計画（連結）

定量計画では、2013年度までの成果と勢いをもって、更なる「持続的成長発展」を目指し、連結受注工事高は2014年度1,000億円、2016年度1,120億円、完成工事高は2015年度1,000億円、2016年度1,060億円を達成する計画としております。また、個別でも2016年度には受注工事高1,000億円を達成する計画としております。

（単位：百万円）

	2014年度計画	2015年度計画	2016年度計画
受注工事高	100,000	105,000	112,000
完成工事高	95,000	100,000	106,000
完成工事総利益	9,000	9,600	10,600
当期純利益	1,500	1,700	2,000